

平成26年11月28日

## もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	人事課	氏名	太田 俊介
派遣先 団体名	松江市乃木公民館		
<p>① 研修の日時 平成26年7月22日(火)～26日(土)の5日間 ※26日(土)以外は8:30～17:15、26日(土)は、8:30～22:00(休憩あり)</p> <p>② 研修の内容</p> <p>○清掃作業 1日の始まりは清掃作業から。毎朝、職員が手分けして館内のモップがけ、トイレ掃除等を行い、施設を利用する地域住民を迎える準備をした。</p> <p>○公民館の役割等を学ぶ 館長から公民館の機能や役割、課題等についての話を聞いた。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・松江市の公民館は、指定管理制度による公設自主運営方式をとっており、全国からその運営が注目されている。合併を機に支所的な役割も担っている。旧松江市と旧八束郡との連携を図るため、5ブロックに分けた幹事館に地域活動コーディネーターを置き、イベントや職員研修等の連携を行っている。幹事館である乃木公民館にもコーディネーターがおられたが、週の半分は忙しそうに飛び回っている感じであった。</li><li>・近年の大きな課題として、自治会への加入率が年々低下していることが挙げられる。特にマンションやアパート等に住む若い世代の加入率が低い。また、高齢者の独居も多くなっているため、市と連携した見守りや声掛けも重要となる。</li></ul> <p>○各自治会への広報物配布 松江市の広報等を公民館玄関にある自治会ごとのボックスへ仕分けする作業を行った。公民館によっては、毎月車で各地区に配布しているところもあるようだが、乃木公民館区は人口も多く、一地区の広報物がかなりの量になるため、各自治会の役員が公民館へ定期的に取りに来ている。</p> <p>ちょうど作業をしている最中に、私の高校時代の担任の先生が公民館に来られ、何年ぶりかの対面をした。現在は引退されて、地域の交通安全協会の仕事をされており、協会が作成した「交通安全だより」を自治会ボックスへ入れたいということだったので、作業を手伝う間に近況報告等ができた。こんな思いがけない出会いも公民館ならではの感覚だ感じた。</p> <p>○「乃木ふるさとまつり」の準備・運営 毎年の公民館の一大行事として公民館駐車場において、「乃木ふるさとまつり」が行われている。準備として、主にまつりの会場設営(舞台・屋台等の設営、ちょうちんや七夕飾り、ゴミステーション等の設置)を行った。まつり当日は、会場係として、場内の安全誘導、会場監視、ごみ分別等の作業を行った。</p>			

### 【乃木ふるさとまつりの様子】



### ③ 研修の感想

今回研修に参加して、公民館が「住民同士が交流するための地域の拠点」となっていることを改めて実感した。

地元住民の方が公民館の事務室にふらっと入って来られて、お茶を飲みながら職員の方と話をされている光景や、職員の方が地元の方の顔や名前をよく知っている事などは、何気ない事だが、公民館と地元がつながっている証拠だと思う。

また、乃木公民館は特に地元の小中学校とのつながりを強く持っており、日常的に小中学生が公民館の施設を利用したり、各種事業へ参加しているとのことだった。研修期間中も、ふるさと祭りのための準備や運営に多くの小中学生が参加しており、とても良いことだと思った。

一方で、最大の行事である祭りの準備運営の中心は、やはり固定化された住民の方で行われており、年々高齢化してきている。経験豊富な高齢者が元気に地域活動をされているのはとてもいい事だと思える反面、若い世代が参加してこない、将来的には祭りや自治会運営に不安が出てくるので、少しずつでも若い世代(特に20代～40代)が行事等に参加するような仕掛けが必要だなと感じた。

いずれにしても、祭りの当日は大変いい天気に恵まれ、事故もなく、子どもから高齢者まで多くの住民の方に楽しんでもらったことは、運営に関わった一員としてとてもうれしいことだった。

### ③ その他特記事項

祭りの運営については、他の研修生(湖南中1名、乃木小1名)の受け入れも行っておられたが、私を含め研修生に対していろいろと配慮していただき、研修をスムーズに行うことができた。

館長をはじめ職員の皆様には、お忙しいところ大変お世話になり、ありがとうございました。

(注) 研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。